

## にんじんのニンジンオマルアブラムシ（新寄主）

令和4年9月下旬に上川農業試験場内で栽培していたにんじん（「向陽二号」）の株元にアブラムシの寄生が確認され、そのコロニーはアリによって土砂（蟻道）で覆われていた。無翅胎生雌成虫の体色は灰色でわずかに白粉を纏い、触角や脚部を除いた体長は2mm程度、触角は体長の半分より短く、触角瘤は発達せず、角状管は短い円筒状で全体に黒色、尾片は短い半円状で体色と同色であり、これらの形態的特徴から非寄主転換性でセリ科植物の地際に寄生するニンジンオマルアブラムシ *Dysaphis foeniculus* (Theobald) と同定された。本種は道内では室蘭市のノラニンジンで発生記録があるが、にんじんでの発生は今回が初めてである。

（上川農試）



にんじんのニンジンオマルアブラムシ（左：被害株、右上：コロニー、右下：雌成虫）

（上川農試 佐々木大介 原図）